

富弘美術館開館30周年企画展

星野富弘 詩画の世界

— 明日へ続く道 —



2021.3.3(水)～8.29(日)

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）

休館日：3月末までの月曜日、5月31日(月)、会期後の8月30日(月)は展示替えによる臨時休館

入館料：大人520円、小人310円、幼児無料

※団体20名以上2割引、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名5割引

主催：富弘美術館

協力：いのちのことば社、偕成社、学研プラス、グロリア・アーツ

後援：朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、桐生タイムス、群馬経済新聞、産経新聞前橋支局、時事通信社前橋支局、上毛新聞、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、FM GUNMA

30th Tomihiro Art Museum

ANNIVERSARY

やさしさをありがとう

2021

富弘美術館 Tomihiro Art Museum

やさしさにいつでも逢える

本展は富弘美術館開館30周年を記念して開催するものです。

星野富弘は、詩画という独自の作品の世界を生み出し、49年過ぎた現在も詩画家として活躍しています。この間、作品には明確な何度かの変化が生じています。本展では、変化の要因のひとつと考えられる作品が生まれた時の星野自身や周辺の様子などが分かる資料をピックアップし、作品の変遷をたどります。

内容を「詩画が誕生するまで」、「初期作品」、「1980年～1993年」、「1994年～2010年」、「2011年～現在」の5つに分類し変化をたどります。最終章に「詩画の可能性」を設け、音楽や朗読など詩画以外の芸術分野との結びつきによる、新たな世界への誘いを紹介し、富弘作品以外の詩画にも触れ、詩画の可能性を探ります。

星野富弘のこれまでの創作活動を振り返り、見つめ直し、新たな作家像と詩画の可能性を見いだすことを目的としています。ぜひ、この機会にご覧ください。



「結婚指輪」1984年



「冬のバラ」1990年



「草の実」1998年



「雨上がりの道」2013年



「苺」2013年



星野 富弘 (ほしの とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文字や絵をかきはじめる。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、群馬県東村に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

開催中のイベント

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記イベントが中止になる場合があります。美術館ホームページをご覧ください。TEL0277-95-6333

朗読会

6/26(土)・7/24(土)・8/28(土)

定期朗読会

①午前10時30分～ ②午前11時30分～ 朗読：朶の会 要入館料

7/17(土) 季節の朗読会

①午前11時30分～ ②午後1時30分～ 朗読：Lively 要入館料

イベント

5/15(土) 開館30周年記念式典

午後1時30分～

6/12(土)・7/10(土)・8/14(土)

ギャラリートーク

午後2時～ 約20分間 当館学芸員 要入館料

交通案内

北関東自動車道 太田藪塚 I.C.より 55 分
 関越自動車道 赤城 I.C.より 1 時間 20 分
 日光宇都宮道路 清滝 I.C.より 40 分
 わたらせ渓谷鐵道 神戸駅下車、市営バスで 10 分



次回展覧会のご案内

企画展「たち止まって いんだよ」
 8月31日(火)～11月28日(日)

富弘美術館
 Tomihiro Art Museum
 やさしさにいっつも通える

〒376-0302 群馬県みどり市東町草木 86
 TEL.0277-95-6333 FAX.0277-95-6100
 URL. <http://www.city.midori.gunma.jp/tomihiro/>
 E-mail. info@tomihiro.jp